

第1回 高校生SDGs選手権大会 ポスター発表 説明資料

学校名	北九州工業高等専門学校
チーム名 (メンバー名)	(冨高楽斗, 梶谷太一, 手嶋慧太)
作品タイトル	元気よめるこたくさん計画
関係する SDGsのゴール	「3. すべての人に健康と福祉を」、「5. ジェンダー平等を実現しよう」
説明文	<p>北九州市では「人口減少」および「高齢化」が解決すべき課題となっている。また、北九州市の将来推計人口は2040年に80万人を下回り、65歳以上人口の割合が35%を超えると予想されている [1]。高齢者人口の増加は福祉医療費の増大に直結し、市の財源を圧迫する。</p> <p>一方、政令指定都市の中で、北九州市の出生率は1位だが既婚率は16位であるという調査結果が示されている [2]。独身がの50%近くが「異性とのめぐり合いがない」ことを独身の理由として挙げている。</p> <p>異性とのめぐり合いの機会が少ないことは、結婚相手を探す機会が乏しいだけでなく、異性との関わり方を学ぶ機会が乏しいことにもつながる。そのため、結婚する年齢を低くするために早くから出会いの機会を増やす必要があると考えられる。</p> <p>本活動では、子供の積極的なイベントの参加を促すことで、異性との関わり方を学べる機会を増やすことを目的とする。小・中学生を対象として他学校、他年代などの出会いの機会が増えれば、異性との円滑なコミュニケーションスキルを身に付けることができ、交際に発展しやすくなるのではないかと考えられる。</p> <p>本活動によって、家族計画および情報・教育に関する保健サービスを通じてすべての人々が利用する土台を構築できる。また、異性間の理解を促すことで、ジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、すべての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を整備できる。加えて、すべての女性に対するあらゆる形態の差別を撤廃することに繋がる。</p>
課題、 今後の展開など	運用開始時、参加者の心理的障壁を低減する仕組みを考える必要がある。また、参加する小中学生がイベントで危険な目に遭わないよう配慮が求められる。
参考文献等	<p>[1] 北九州市、「地区別の将来人口等 地域別の将来人口推計」、 https://ssl.city.kitakyushu.lg.jp/files/000733863.pdf</p> <p>[2] https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/taskforce_2nd/t_1/pdf/ref1-2.pdf</p>

(説明文は1ページ以内)